



伊勢崎市立名和小学校 学校通信 第23号 令和4年11月9日

名和小だより

学校教育目標 よく考え工夫する子 思いやりのある子 がんばりのきく子
(未来のための三つの心 **自立心** **向上心** **思いやりの心**)

マラソン大会に向けて

11月17日(木)のマラソン大会に向けて、子ども達は各自の目標に向かって走り始めています。20分休みになると多くの児童が校庭に出て、学年毎に設定されたコースを自分のペースで走っています。また、朝学校に登校するとランドセルを片付け、校庭に出て走っている5,6年生もいます。自分たちから取り組んでいる姿は素晴らしいです。汗をかきながら走っている人、友だちと会話をしながら笑顔で走っている人、友だち



と競うように走っている人等、様々な形でみんなが走っています。持久走を苦手としている人でも周囲の環境から一步踏み出して頑張っている人もいます。このマラソン大会は一つのきっかけです。それはどんなきっかけになるかも人それぞれです。校庭に出て走っているだけで一つのきっかけを自分からつかもうとしています。『自分の気持ちに打ち勝つ強さ』『走ることへの自信』『頑張り通せた粘り強い気持ち』『自分への自信』等々、目には見えない素晴らしい物が得られていきます。

1年 校外学習

11月2日、天候に恵まれ1年生は桐生が岡公園の動物園と遊園地に出かけました。「こんな大きなバス、初めて。」「お弁当も乗り物も全部楽しみ。」

友だちと出かけることやお弁当を食べること、動物を見たり乗り物に乗ったりすることなどたくさんの楽しみにわくわくしていました。動物園も遊園地もグループ行動です。チェックポイントでは協力して問題を解いてシールをもらい全員クリアしました。乗り物に乗る順番も守って回りました。地図を見ながら活動したり、グループが離ればなれ



になってメンバーを探したり、自分でお弁当の準備や片付けをしたり、チケットを自分で管理したりとたくさんの体験をして、友だちと助け合い大変なことも克服することができた子どもたちは、この一日で大きく成長しました。「あ〜もう終わっちゃうな〜。」と学校に着く頃のバスの中では、名残惜しさと充実した気持ちに満ちていました。毎日の学校生活の積み重ねによる経験が成長に欠かせないことをつくづく思いました。ご家庭におかれましては、校外学習への準備等のご協力ありがとうございました。

4年生の福祉の学習

4年生では総合の学習で福祉のことについて学習をしています。その中の一つの学習に体験学習があります。車いす、ブラインドウオーク、点字の学習をそれぞれ行い、実際の動きや大変なことなど直接感じとります。同時に障がいを持つ人の周囲の人は何ができるか、どんな声かけが必要なのか等も友だちのサポートをしながら学習していきます。これらの学習は、障がい者に対する正しい理解であるのと同時に、相手の気持ちを考えた行動をする大切さを知る学習でもあります。自分の視野を広げ心を成長させる大切な学習です。



地域の歴史を学ぶ 「夜泣き地蔵」

「夜泣き地蔵」この言葉を聞いたことはありますか。4年生は群馬県の学習をしていることもあり浅間山の噴火と関係深い戸谷塚の「夜泣き地蔵」の歴史について、戸谷塚在住の飯島恭己さんに紙芝居を通して伝えていただきました。なんとなく見ていたお地蔵さんも歴史を知ることで見方が変わり、ふるさとの良さを感じたことと思います。



県陸上教室記録会

伊勢崎市の代表として本校から3名が出場しました。市の記録会より記録が伸びた子もいれば、残念ながら力が出し切れなかった子もいます。結果は毎回よくなるとは限りません。それをしっかりと受け止め、次にどのような準備するか考えて取り組む事です。また、この経験が次の新しい場で必ず活かされます。このような経験をできるだけ多く子ども達に経験をしてもらい、しっかりと自分の土台をつかって次のステージに進んでほしいと思っています。

今回の県大会に向けての練習に何人かの友だちも協力をしてきていました。お互いに高め合える仲間がいることは素晴らしいことです。

5年女子100m	大橋彩那	優勝
6年男子100m	大平翔琉	18位
男子走り幅跳び	安西郷将	20位



11月6日 廃品回収 あいがとうございました

今年度から回収の方法を変更して実施しました。事前に持ち込みをしていただいたり、職場等からも回収してきていただくなど、ご協力ありがとうございました。

